



東方日本の海を夢みた。

あの人もこの人もなつかしい

本館開館25周年記念企画

夢二の里がえりI

平成22年

2月2日(火)―4月25日(日)

開館時間◇午前9時―午後5時(入館受付は午後4時30分まで)
休館日◇月曜日(祝日・振替休日の場合は翌日)
入館料◇一般700円、中高大学生400円、小学生300円
※20名以上の団体は2割引

夢二郷土美術館

〒657-8506 岡山市中区夢二 TEL 085-921-1100
FAX 085-921-1100 E-mail info@yumeji-art-museum.com
<http://yumeji-art-museum.com>

夢二の里がえり I



1933 - By Yumeji Inoue Berlin

ベルリンの公園(1933) 紙にペン・水彩



野草スケッチ この花は(1932) 紙に墨・水彩



外遊スケッチ 少女(1933) 紙に鉛筆

竹久夢二は明治17(1884)年に、岡山県邑久郡本庄村(現在の瀬戸内市邑久町)に生まれました。16歳までを過ごした故郷・岡山での幸せな思い出は、旅好きでのちに漂泊の画家と呼ばれた夢二の心の支えとなりました。

その想いは詩集に詠まれ肉筆画、本の挿絵、雑誌や楽譜の表紙絵、生活用品のデザインなどの中にたびたび描かれています。

2009年は夢二生誕125年を記念して、夢二の作品は故郷を出て、日本各地を旅しました。

多方面に渡る夢二の業績は、一世紀を経た今でも、私達に新鮮な感覚を喚起させてくれます。

そこで、2010年の初春に里帰りしてきた作品の中から、夢二郷土美術館の代表作「立田姫」をはじめ、「加茂川」「秋のいこい」など、特に秀逸な作品の数々をあらためて皆様にご覧頂きます。

また、夢二が晩年アメリカやドイツなど外遊時に故郷の日本を想って描いた作品もあわせてご紹介いたします。

昭和59(1984)年に後楽園の外苑に建てられてから、開館25周年を迎えた夢二郷土美術館・本館。昔も今も変わらず、赤レンガ造りに銅葺きの屋根、尖塔に風見鶏の大正ロマン漂う印象的な姿で、皆様のお越しをお待ちしています。

※表の作品:舞妓図(1932) 紙本着色



路面電車○JR岡山駅より東山行「城下」下車、徒歩15分
 バス○JR岡山駅より後楽園方面行「蓮葉橋・夢二郷土美術館前」下車すぐ
 タクシー○JR岡山駅より約10分
 車○山陽自動車道岡山ICより約30分

館内喫茶「café松香」をリニューアルいたしました。

OPEN 10:00-16:00
 SET/MENU ¥400/¥600

夢二が好んだドイツの桃葉子「オルパージュ」と紅茶のキャッチボールが楽しめる館内の喫茶「café松香」。より美術館をおたのしみいただけるよう、味と雰囲気を一層こだわってリニューアルいたしました。世界の紅茶専門店LUPICIAの「オーブ」を丁寧に淹れたいです。

美術館ならではの雰囲気の中、一杯の紅茶でやすらぎのひとときをお過ごしください。

